

名誉市民

故鈴木誠二氏をしのぶ

2月15日に96歳で逝去された、砂川市名誉市民の鈴木誠二氏の市葬が、2月19日の午前11時からメモリアルわしおにおいて、厳粛に執り行われました。故人が残された偉大な功績をたたえ遺徳をしのぶために、多くの市民や来賓の方々が参列し、故人のめい福を祈って最後のお別れをしました。



名誉市民称号受称時の故鈴木氏

鈴木氏は、昭和34年砂川市議会議員に当選して以来、常に民意をくみ、適切な判断力をもって3期12年間、砂川市を支えられました。この間、昭和42年5月から副議長、同44年3月からは議長の大任を歴任され、市政の振興発展に多大な貢献をされました。

昭和41年の市立病院の移転改築にあたっては、近代的な総合病院の建設を目指し、行政と議会の連携のもと、建設用地や資金、医師や看護師の確保などに奔走

走し、中空知の中核病院としての基礎を作り上げました。

また、過去幾多の大水害をもたらした石狩川の河川改修に向け、関係各所へ治水事業促進の働きかけを行うとともに、地域住民に対しても治水用地取得の協力を訴えるなど、市民生活の不安を取り除くため、大規模な河川改修工事の実現に尽力されました。

さらに、砂川北高校の移転改築や石山中学校の統合問題では、諸問題解決に向け、関係機関への陳情や関係住民、土地所有者との対話を率先して行い、新校舎建設に大きく寄与されました。

その後、昭和46年4月北海道議会議員に当選し、通算4期16年間務められました。この間、北海道監査委員などの公職に就かれ、豊富な経験と卓抜な識見をもって公正な審査を行うとともに、本市においても北海道子ども国や北海道電力



2月19日に行われた市葬の様子



善岡市長のお別れのことば

（株）火力発電所の誘致、総合福祉センター、北海道障害者職業能力開発校、総合体育館、公民館、図書館などの公共施設の建築に多大な貢献をされました。

これら数々の地方自治の発展に寄与された功績により、平成元年に勲四等旭日小綬章、同3年には北海道知事表彰を受賞されました。

また、同5年には、砂川市名誉市民に推挙されています。

故鈴木誠二氏 略歴

- 大正8年10月22日 新潟県で出生
- 昭和9年 新潟県北蒲原郡中浦村 天王尋常高等小学校卒業
- 昭和34年 砂川市議会議員（3期）
- 昭和46年 北海道議会議員
- 昭和54年 北海道議会議員（3期）

【表彰歴等】

- 昭和44年6月5日 全国市議会議長会会長表彰
- （永年勤続議員10年以上）
- 昭和45年5月7日 北海道市議会議長会会長表彰
- （永年勤続議員12年以上）
- 昭和45年11月3日 砂川市長表彰（市政功労表彰・自治振興）
- 昭和60年10月18日 北海道議会議長表彰（永年勤続）
- 昭和60年11月7日 全国都道府県議会議長会会長表彰
- （永年勤続）
- 平成元年11月3日 勲四等旭日小綬章
- 平成3年11月3日 砂川市長表彰（砂川市特別功労表彰）
- 平成3年12月10日 北海道知事表彰（北海道社会貢献賞）
- 平成5年11月3日 砂川市名誉市民称号